

# 防コミの歩き方



## 地域の防災力アップ!

灘中央防災福祉協議会はJR摩耶駅の北側のエリアで、水道筋商店街などがあるにぎやかな地域です。この地域は密集地も多く、阪神・淡路大震災以降、防災意識も

高まる中、再開発も進んできました。2016年にはJR摩耶駅が開業し、マンション等が多く建設され、若い方を中心に新しく住民になった方も増えました。これらの方に防コミ活動に参加していただくためさまざまな活動をおこなっています。

私自身は民生児童委員として活動している関係から、特

に要援護者支援対策にも力を入れております。毎年実施している要援護者避難訓練・防災訓練もこのコロナ禍の中、なんとか実施したいと考え、事前に灘区役所や灘消防署の方々のご指導を受け、参加者の皆さま

には受け付けで体温測定や手指の消毒をしてもらったり、3密にならないようラインを引いたり、細心の注意を払い訓練を計画しました。

そして当日は、水道筋商店街からマスクや消毒薬も提供していただき、地域の皆さま、灘区役所、灘消防署の方々にご指導、ご協力いただきまして無事に終えることができ、役員一同感謝しております。

特に灘消防団第6分団の皆さまには地域に密着したご指導をいただいております。ありがとうございます。

このように訓練を繰り返しおこない、日頃から地域の皆さまに防災の重要性を説くことにより「いざという時にもあなたは一人ではない、地域全体で見守っているよ」ということを感じていただき、それが生きる勇気につながればと思い、安全・安心なまちづくりを念頭に地道な活動に取り組んでおります。



非日常が現実にかかるのが災害です。行政、消防団の皆さまそして地域の皆さまと連携し、防災活動を続けていきたいと思っております。

(灘中央防災福祉協議会会長 荒木康夫)

# 半



小山  
前会長



荒木  
会長